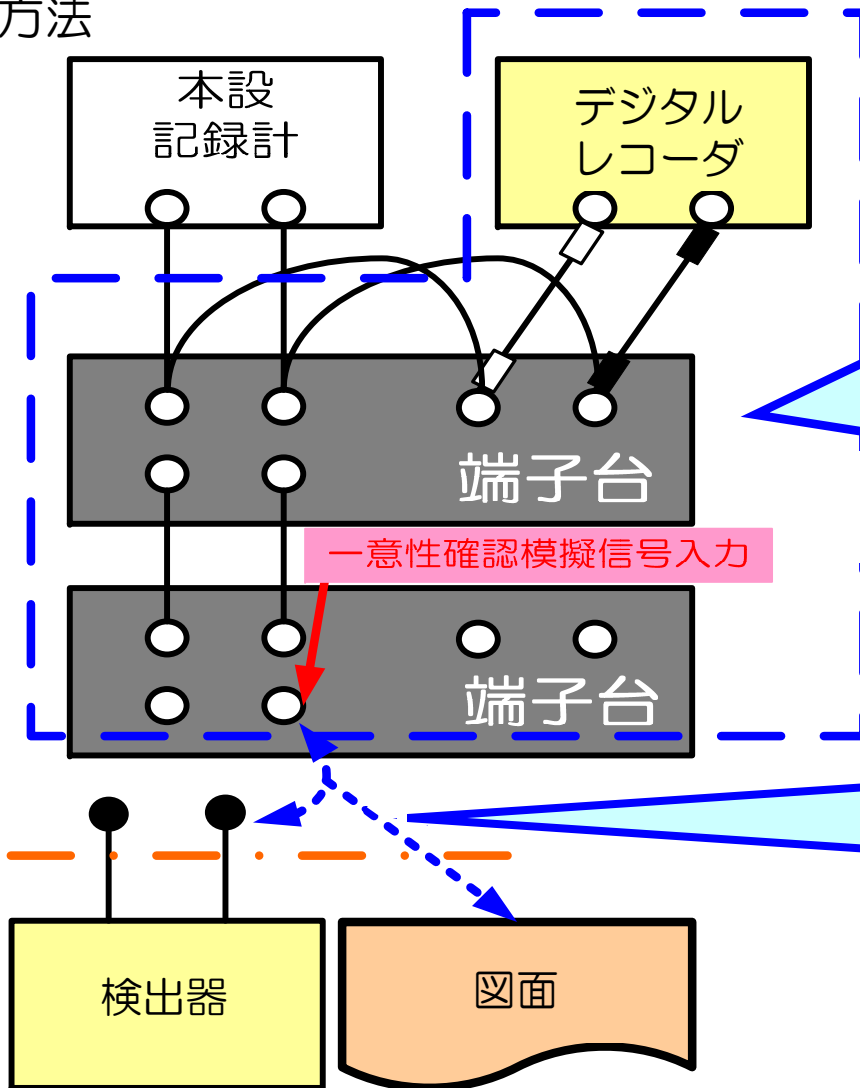


1. 対象範囲

1～4号機のデジタルレコーダに接続されている計器（計468台）を対象

2. 確認方法



(1) 一意性確認

模擬信号を入力し、デジタルレコーダの指示値が変化することを確認することにより、測定対象の信号出力点からデジタルレコーダまで、正しく接続されていることを確認

(2) 目視確認

図面と解線箇所（模擬信号入力箇所）の照合を実施

- 対象、中操の端子台番号、ケーブル番号

福島第一原子力発電所 温度計配線の誤接続に係る類似調査

3. 確認結果

○対象台数468台（1号機：96台、2号機：168台、3号機：185台、4号機：19台）のうち、7台（1号機で6台、2号機で1台）において、誤接続が確認されたが、1～4号機の保安規定関連・運転日誌の計器においては誤接続は確認されず、監視上の影響はなかった。

| 号機 | 対象計器および内容 |
|-----------|---|
| 1 [6台] | <p>① PLRシール水圧力：4台 仮設端子台（本設ケーブル）への接続が+、-を逆に接続。内、2台に関しては、B系とC系の接続が逆になっていた。 →故障のため、デジレコから除外。</p> <p>② 原子炉圧力：1台 B系に接続すべきところ、C系に接続されていた。 →故障のため、デジレコから除外。</p> <p>③ ドライウエル水位※ 1台 現場側配線がリフトされている状態でデジレコに接続されていた。 →正しい接続に変更。 ※設定値：O.P. +27,150mm（格納容器底部から約20m）</p> |
| 2 [1台] | <p>① ドライウエル水位※：1台 現場側配線がリフトされている状態でデジレコに接続されていた。 →正しい接続に変更。 ※設定値：O.P. +28,195mm（格納容器底部から約23m）</p> |